

くまもと県北病院に通院中または過去に通院・入院された患者さままたはご家族の方へ当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2025年 8月 25日

「限られた人員体制下での診療効率改善―救急救命士との協働による時間的効果の分析―」に関する研究を実施しています。

くまもと県北病院倫理委員会の審査による承認を得て、上記研究を実施しています。
この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	2025/4
課題名	限られた人員体制下での診療効率改善 ―救急救命士との協働による時間的効果の分析―
所属（診療科等）	看護部 救急病棟
研究責任者	緒方 楓
研究実施期間	倫理審査承認日～2027年8月
研究の意義・目的	本研究は、救急外来におけるタスクシフトの導入が患者の滞在時間に与える影響を明らかにすることで、限られた人員体制下でも診療効率を向上させる可能性を示すものである。特に、看護師と救急救命士の協働による業務分担は、医療スタッフの負担軽減や患者・家族の満足度向上に寄与すると考えられる。また、今後の人材活用や業務改善の指針として、他施設への応用も期待される。
対象となる方	2022年4月～6月、2025年4月～6月までに当院救急外来を受診した患者
利用する診療記録・検体	救急外来診療録情報
研究方法	後ろ向き観察研究
問合せ先	くまもと県北病院 73-5000（救急病棟）

- 診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。
- 当院外へお名前や個人情報がでることはありません。
- 必要な情報のみを集計します。
研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌で発表しますが、患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
- この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了承いただけない場合、またご不明な点については上記問合せ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

●研究不参加を申し出られた場合でも、何ら不利益を受けることはありません。

ただし、同意取り消しの申し出をいただいていた時、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や試料や情報が匿名化されて個人情報が入り込んでいない場合などには結果を廃棄できないことがあります、引き続き使用させていただくことがあります。